

2026



福島県スキー技術選手権大会

兼全日本スキー技術選手権大会

福島県予選会

福島県ジュニアスキー技術選手権大会
第1戦

期	日	2026年1月25日(日)
場	所	EN RESORT Grandeco
本	部	グランデコスキースクール
主	催	福島県スキー連盟

大会役員名簿

福島県スキー連盟	会 長	阿 部 和 博	
福島県スキー連盟	副 会 長	佐 藤 孝	
福島県スキー連盟	教育本部長	野 地 宏 三	
	競 技 委 員 長	野 地 宏 三	
	運 営 責 任 者	橘 内 清 隆	
	技 術 代 表	阿 部 哲	
	審 判 長	甲 斐 史	
	審 判 員	兼 子 佳 代	向 井 辰 徳
		加 藤 市 郎	山 岸 徹
		越 尾 茜	渡 部 卓
役 員		鈴 木 祐 一	齋 藤 安 雄
		加 藤 市 郎	山 西 成 人
		荏 原 正 明	渡 部 卓
ゴ ー ル 審 判		鈴 木 祐 一	
ス タ ー ト 審 判		福島県スキー技術員	
I C T 委 員		安 田 剛	新 国 竜 也
		大 竹 実	
運 営 強 化 委 員 会			

タイムスケジュール

1/24 (土)		1/25 (日)	
受 付	13:00～15:00	受 付	8:00～8:30
		インスペクション①	9:00～9:30
		大 回 り	10:00～
		総 合 滑 降	大回り競技終了次第
		小 回 り	総合滑降競技終了次第
		インスペクション②	小回り競技終了次第
		不 整 地 小 回 り	インスペクション終了次第
		閉 会 式	14:30～(予定)

※新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、競技を行ってください。

※天候やゲレンデ状況により種目順や使用バーン、タイムスケジュールが変更になる場合があります。

その場合、場内放送や公式掲示板(雪花入口付近)に掲載しますので確認願います。

※総合滑降、小回り及び不整地小回りの開始時刻は、前の競技終了後適時開始します。

※リザルトは集計後公式掲示板(雪花付近)に掲載します、

※入賞者(上位10名)は順位確認後、雪花にお集まりください。

日 時	種 目	バ ー ン 設 定	使用バーン
1月25日	大回り	中急斜面 ナチュラルバーン	アルペン上部
	総合滑降	中急斜面 ナチュラルバーン	アルペン上部
	小回り	急斜面 ナチュラルバーン	フォールライン
	小回り	急斜面 不 整 地	フォールライン

※公式トレーニングは行いません。

※25日の大会については、競技開始時刻は定めるが、それ以後については、スタートに選手が集まり次第競技を開始する。よって選手は、前の種目が終わり次第速やかに次のスタートに上がること。

※天候やゲレンデ状況等により種目順や使用バーンが変更になる場合があります。その場合、場内放送や公式掲示板に掲載しますので確認願います。

◆班編成と種目の流れ及びローテーション

班 別	BIB No	各種目のスタート順BIBNo			
		大回り	総合滑降	小周り	小回り 不整地
1 班	1～40	1～40	1～2 4～7 3 16～40 8～15	1～2 5～7 3～4 24～40 8～23	1～2 6～7 3～5 32～40 8～31

班	BIB No	氏名	性別	資格	所属団体名	備考
Jr.中学女子	1	鈴木 仁知可	F	2級	郡山ザベリオ学園中学校	1年生
Jr.高校女子	2	鈴木 美礼	F	1級	日本大学東北高校	1年生
一般女子	3	大嶋 真帆	F	クラウン	須賀川病院スキー部	
	4	佐藤 桜華	F	テクニカル	福島っ子SC	
	5	塚本 遊	F	指導員	福島不忘スキークラブ	
	6	菅家 叶望	F	テクニカル	伊南スキークラブ	
	7	佐藤 未来	F	1級	猪苗代スキークラブ	
一般男子	8	佐藤 修一	M	1級	猪苗代スキークラブ	
	9	橘 紅樹	M	クラウン	舘岩スキークラブ	
	10	森 賢悟	M	クラウン	日本テキサス・インスツルメンツ	
	11	桑原 竜司	M	テクニカル	90クラブ	
	12	佐塚 功	M	指導員	昭和村スキークラブ	
	13	北寒寺 暁	M	準指導員	東山温泉スキークラブ	
	14	寺田 克彦	M	指導員	磐梯町スキークラブ	
	15	橘 秀斗	M	準指導員	舘岩スキークラブ	
	16	吉田 怜央	M	準指導員	磐梯町スキークラブ	
	17	阿部 結太	M	準指導員	Team.フライハイト	
	18	河原田 裕	M	指導員	会津美里町スキークラブ	
	19	白土 光則	M	準指導員	TEAM ALPINE	
	20	佐藤 友昭	M	準指導員	TEAM ALPINE	
	21	小島 大樹	M	1級	猪苗代スキークラブ	
	22	羽田 正宏	M	指導員	福島不忘スキークラブ	
	23	鈴木 淳一	M	指導員	90クラブ	
	24	佐藤 海斗	M	指導員	日大基礎スキー同好会	オープン
	25	佐々木 啓介	M	クラウン	デコ平スキークラブ	
	26	甲斐 大温	M	1級	喜多方スキークラブ	
	27	阿部 遥也	M	準指導員	Team.フライハイト	
	28	矢野 将成	M	クラウン	伊南スキークラブ	
	29	大峰 竜次	M	クラウン	会津スキークラブ	
	30	林 亮徳	M	指導員	舘岩スキークラブ	
	31	大槻 智弘	M	指導員	ふくしまスキークラブ	
	32	古田 春稀	M	クラウン	舘岩スキークラブ	
	33	三瓶 志門	M	1級	南郷スキークラブ	
	34	浅野 貴之	M	準指導員	ふくしまスキークラブ	
	35	甲斐 麗温	M	準指導員	喜多方スキークラブ	
	36	中山 紘樹	M	準指導員	南郷スキークラブ	
	37	長谷部 宏仁	M	1級	東山温泉スキークラブ	
	38	高島 秀樹	M	指導員	サンシャインスキークラブ	
	39	花井 秀樹	M	クラウン	舘岩スキークラブ	
	40	中村 竜太	M	指導員	Team.フライハイト	

キャプテンミーティング資料

大会規定 福島県大会であります但全日本の予選会をかねています。(ジュニア及びオープン参加は除く)

出場資格 ①満15歳以上のもの。
 ②SAJバッジテスト1級同等以上の技術を有するもの。
 ③各保険会社の傷害保険に加入済みのもの。
 ④当該年度の本連盟会員登録を行っているもの。
 (上記①及び④について、オープン参加選手及びジュニアについてはこの限りではない。)

競技規則 【公式用品の使用に関して】
 (1)選手はSAJ公式用品委員会において認定された用具・用品を使用し、用具・用品に表示される商標及び社名は、本連盟規定によるもの以外認めない。(SAJのHPのSAJ全般(総務本部) OSからのお知らせをご参照願います。)
 (2)プレートは市販商品の正常な使用方法に限る。改造もしくは複数商品を複合した使用法は認めない。
 (3)スキーの使用については、**2台まで**とする。
 (4)選手が着用を許されるウェアは市販されている、あるいはされるルーズフィットなものとし、レーシングスーツは認めない。

【帽子等の着用に関して】
 (1)競技中は、全種目でヘルメットを着用しなければならない。

【ビブの着用に関して】
 (1)インスペクション等でコート内に入る場合は必ずビブを外側に着用すること。

【スタートの要領に関して】
 (1)選手は各種目のスタートに5分前に集合し、スタート係の点呼を受け応答しなければならない。
 (2)選手は前者の出発後、直ちにスタート位置につき準備を整える。
 (3)選手はスタートの合図により出発する。直ちに出发しない場合は当該種目を棄権したものとみなす。

【フィニッシュの要領に関して】
 (1)フィニッシュは、コート下部左右にある目印を結ぶフィニッシュラインの通過をもって演技終了となるが、安全上の観点から十分にスピードをコントロールしてから停止してからコート外に出ること。

【演技の中断等に関して】
 (1)演技を中断した場合は、その位置で体勢を整え再スタートをする。中断が長引く場合は役員の指示に従う。
 (2)選手は用具の離脱があった場合は、役員のほう助を受けることができる。
 (3)やむを得ず途中棄権する場合、その旨を役員に告げ、速やかにコート外に移動する。この場合は、当該種目の得点は0点とするが、次の種目からの出場権は維持される。

競技方法 ①種目ごとのローテーションは、以下の通り。
 ②審判方法は『5審3採』を採用し、3審の合計点を種目得点とします。

④抗議については、ゴール後コート役員に申し出てください。

班 別	BIB No	各種目のスタート順BIBNo			
		大回り	総滑	小回り	小回り 不整地
1 班	1～40	1～40	1～2 4～7 3 16～40 8～15	1～2 5～7 3～4 24～40 8～23	1～2 6～7 3～5 32～40 8～31

※大会のスケジュール・バーンの変更等の連絡については、公式掲示板及び場内放送にて連絡致します。

全日本スキー技術選手権大会への選手選出方法及び強化指定選手選出基準について

全日本スキー技術選手権大会への出場枠は男子6名、女子1名となる。

その枠を以下のように選考する。

1. 男子上位2名、女子上位1名を福島県代表として選出する。
2. 本大会で決定する男子2名、女子1名を除く男子4名及び男子・女子の補欠については、1月31日(土)～2月1日(日)に開催される東北ブロックスキー技術選手権大会での成績と本大会での成績の合計点の上位から選出する。
3. 原則として、東北ブロックスキー技術選手権大会への出場がない者は全日本スキー技術選手権大会へ選出はしない。

強化指定選手選考基準

1. 選考方法

福島県スキー技術選手権大会において成績上位の者から選考する。尚、資格はバジジテスト1級以上所持で福島県スキー連盟に加盟している者とする。また、次年度以降も本連盟に所属して活動の意向のある者とする。

2. 強化指定枠

指定枠は、以下の5段階に分ける。

①S指定強化指定選手

当年度及び前年度の全日本スキー技術選手権大会のスーパーファイナル進出選手

②A指定強化選手

当年度及び前年度の全日本スキー技術選手権大会の決勝進出選手

③B指定強化選手

当年度及び前年度の全日本スキー技術選手権大会の準決勝進出選手

④C指定強化選手

当年度及び前年度の全日本スキー技術選手権大会の代表選手(補欠を含む)

④D指定強化選手

福島県スキー技術選手権大会出場者のうち29歳以下で強化委員会で推薦を受けた者。

3. 指定選手の期間

毎年行われる福島県スキー技術選手権大会により選考され、翌年の当該大会の前日までの間とする。

4. 指定選手の扱いについて

①合宿への参加費については免除する。

②合宿及び大会参加に伴う、参加費以外の費用については、事業の都度ランクに応じて決定する。

5. 強化指定選手の義務

福島県スキー技術選手権大会前までに強化合宿に最低1日以上参加するものとする。ただし、やむをえない事情により欠席する場合は、理由書を強化委員会へ提出し認められた場合についてはこの限りではない。なお、強化指定選手に選考されなくても全日本スキー技術選手権大会への選手選考については認めるが全額自己負担とする。